

Human Brain Science Hall 内覧会

2022年1月20日

2022年1月20日に開催された Human Brain Science Hall 竣工記念講演会に引き続き Human Brain Science Hall の内覧会が行われました。

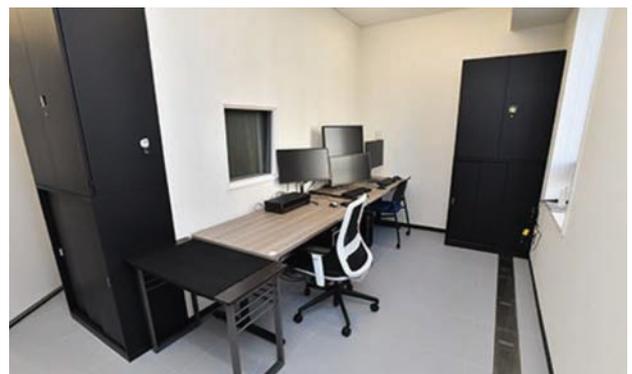
Human Brain Science Hall は上3建て（一部5階建て）、L字型形状の内部は「研究ゾーン」、「研究室ゾーン」、

「教育・交流ゾーン」の3リアで構成されています。共用部には自然換気システムを導入、個室ブースには光触媒除菌機を設置するなど、随所に新型コロナウイルス感染症対策が施されています。SDGs に関する取り組みでは、17の国際目標のうち「質の高い教育をみんなに」など6つのゴールを重点目標としました。



3階には生理指標を使った調査に使われる生理実験計測室にはシールドルームが設置されており、脳波、心電図、皮膚電位、筋電図、モーションキャプチャーなど様々な身体反応を計測することが可能です。身体の細かな動

き、音楽鑑賞時のリラックスした時や睡眠中の脳波などを個人の反応だけでなく、対人場面での2者間の反応を同時に測定することも可能です。





社会心理実験室では、他者とインタラクションするような行動実験を実施することができます。独立した10室のブース内には、ネットワークに接続されたPCが常時設置されており、経済ゲーム実験用プログラムがインストールされています。研究参加者同士が顔を合わせることなく共通の課題に取り組みます。ここでは、社会環境が個人の心理や行動に与える影響などを調べることが可能です。



心理実験室は、赤や青など照明の色を変えることで色を見分けることができなくすることもでき、マジックミラーが設置された部屋では相手に自分がだれかということを確認されることがない状況で、他人の振る舞いを評価することも可能となっています。



2階にある生化学解析室では、唾液からオキシトシンやバソプレッシンなど、主にヒトの社会性に関するホルモン濃度を測定することができます。今後は遺伝子解析の解析なども予定されています。



生化学解析室の隣の視線計測室は視線や瞳孔を調べる部屋で、最近では絵画鑑賞の際の視線の動きや瞳孔の大きさ、2者間でお互いが相手の顔のどこを見ているかなどの測定が可能です。

そしてHBSHを代表する設備でもある1階MRI撮像室には、3テスラーMRIの最高グレード（シーメンス社 Magnetom Prisma Fit）を導入、詳細な脳の形態や活動の計測を行います。このMRIは、3階の社会心理



実験室とネットワークで繋ぐことができ、多数の方と社会心理のゲーム実験を行っている時の脳の活動を測定することも可能です。



HBSH エントランスすぐ横にはMRIシミュレータ室があり、MRIの実機に入る前にここで疑似体験ができたり、行う課題の練習を行うことができます。特に、子

供の研究参加者のMRIを撮像する時には、まずここでMRIに十分慣れていただき、その後実験を行うようにしています。



学内に分散していた脳関連研究施設が集約されたHBSH。これから「教育・研究・社会」と連携する、開

かれた脳科学の研究拠点となることが期待されます。